

車両運搬車 架装物 解体マニュアル

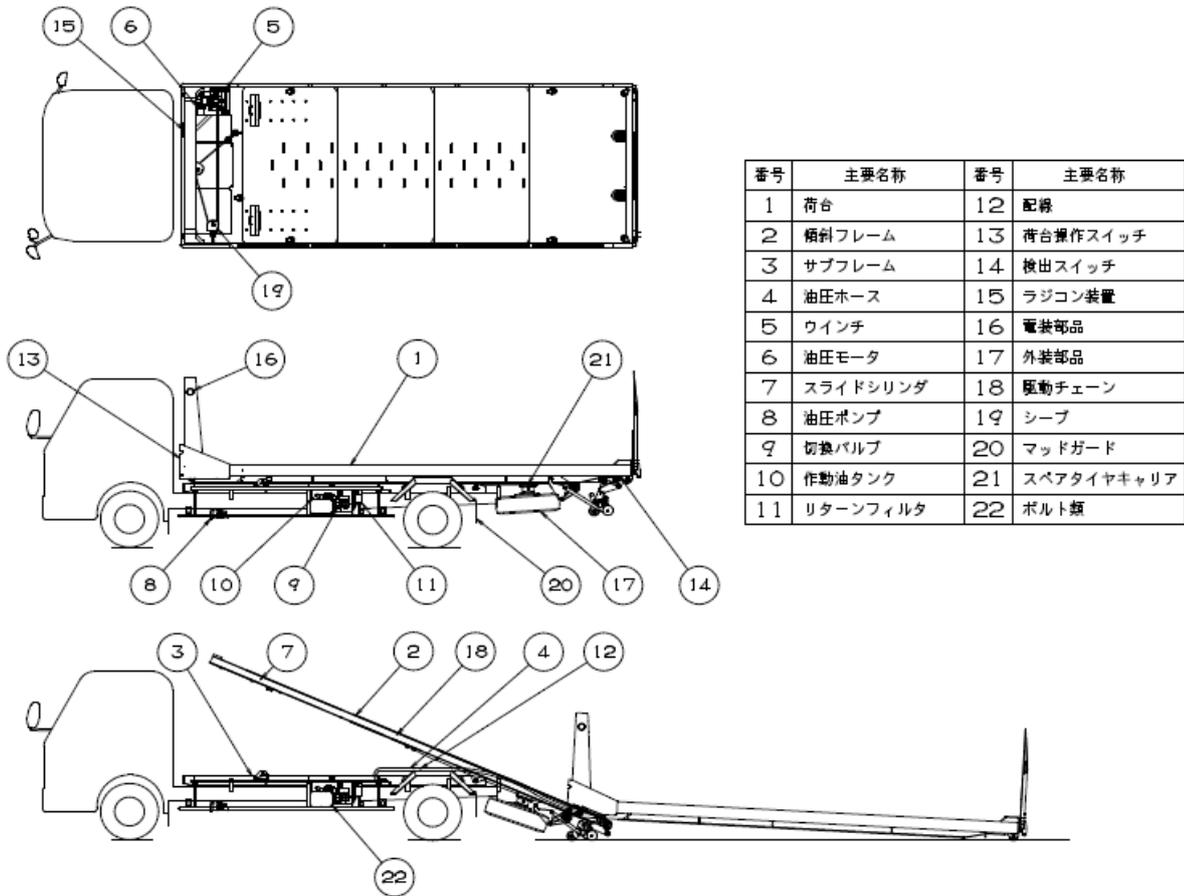
1. はじめに

本解体マニュアルは代表的な機種の一般的な解体例を示していますので、掲載された図等は実物と異なる場合があります。

この解体マニュアルは解体業者が安全に解体するための参考例です。解体作業に当たっては、(社)日本自動車車体工業会のホームページに掲載されている「解体マニュアル(車体工業会共通)」も参考に、解体場所、設備、用具等に注意し、安全作業及び環境保全に留意し、関係法令を遵守して行ってください。

尚、本解体マニュアルにて解体作業を実施された際に、お客様または第三者に損害が生じた場合、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2. 車両各部の名称



3. 解体手順

番号	品目名称	解体方法	注意事項		
車両全体	事前準備	荷台に車両などが積載されていないか確認し、外装品を取り外して下さい。 (歯止め、スペアタイヤ等)	取扱説明書の安全作業に準じて下さい。 廃油を受けるためのオイルパン等の容器を用意して下さい。		
	接続部取り外し	荷台接地ローラが接地した状態とする。 ウインチに接続している油圧ホース、油圧ホースを固定しているクランプ、荷台側で接続している配線コネクタ、ケーブルベアの荷台側の固定ボルトを取り外して下さい。			
	荷台脱着	荷台接地ローラが接地した状態で、クレーンで荷台の前後左右4箇所を吊り上げて下さい。 荷台とスライダを繋いでいるピンを外し、荷台を降ろして下さい。	ワイヤ掛け作業を確実にやり、安全確認して下さい。 周囲の安全を確認して下さい。		
	傾斜フレーム脱着	傾斜フレーム後端の支持脚が接地した状態で、クレーンで傾斜フレームの前後2箇所を吊り上げて下さい。 傾斜フレームとサブフレームを繋いでいるピンを外し、傾斜フレームを降ろして下さい。			
	サブフレーム脱着	クレーンでサブフレームの前後2箇所を吊り上げて下さい。 サブフレームとシャシを固定しているハゴイタを切断し、サブフレームを降ろして下さい。			
1	荷台	金属部、樹脂類(荷台接地ローラ、支持脚ローラ、スライドプレート)、配線類、ゴム類(バンパ両端ローラ)に分別して下さい。	作業時に発生する埃を吸わないよう、防塵マスクを着用して下さい。		
2	傾斜フレーム				
3	サブフレーム				
4	油圧ホース	内部の廃油を抜き取り、産業廃棄物処理業者に処理を依頼して下さい。	廃油を抜く場合は、オイルパン等の容器に受けて下さい。		
5	ウインチ				
6	油圧モータ				
7	スライドシリンダ				
8	油圧ポンプ				
9	切換バルブ				
10	作動油タンク				
11	リターンフィルタ				
12	配線			金属部と樹脂類に分別して下さい。	
13	荷台操作スイッチ				
14	検出スイッチ				
15	ラジコン装置				
16	電装部品				
17	外装部品	取り外し、分類して下さい。			
18	駆動チェーン				
19	シーブ				
20	マッドガード				
21	スペアタイヤキャリア				
22	ボルト類				

4. 終わりに

本解体マニュアルでは2トン車架装の車両運搬車を基本に、解体手順の概要について記載してあります。詳細についてお知りになりたい場合は、車両の製造プレートに記載されている製品型式(架装型式)及び製造番号をご確認の上、製造メーカーにお問い合わせください。